

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

020	1012	事務事業名	消防訓練事業		細事務事業名			公的関与	2				
課名	消防課	係名	警防係		電話番号	089-964-5210		メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp				
事業区分	経常的事務事業		事業運営方法	直営	実施計画	非該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(5) 防火・防災意識の高揚と自主防災組織等の育成					
事業の対象	消防署、消防団、関係機関、市民等				根拠法令	消防組織法							
事業の目的	最終的	総合的な訓練を実施し、災害に強いまちづくりを目指します。			今年度	国交省及び3市2町主催の水防訓練の実施。							
活動内容	消防団の水防訓練の実施												
	自主防災組織の消火訓練の指導												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	総合防災訓練又は水防訓練		訓練実施回数		回	目標 1	1	1	1				
	地域防災訓練		訓練実施割合 訓練実施数 ÷ 自主防災組織結成数		%	目標 100	100	100	100				
						実績 1	1						
						目標							
						実績							
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	150 千円	90 千円	0 千円									
	計(A)	150 千円	90 千円	0 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.078 人	580 千円	0.125 人	944 千円	0.125 人	942 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		730 千円	1,034 千円	942 千円									
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）												
必要性	市民と一体となった防災体制の確立が必要です。												
有効性	防災訓練を通じ、市民の防災に対する意識の向上がみられます。												
達成度	総合的な防災体制の整備を図るとともに、市民の防災に対する意識の向上を図れるように検討します。												
効率性	他の関係機関からの情報を参考に、当市の実状にあった防災体制について協議します。												
当面の課題	危機管理室と連携し、本市の地理的、社会的特性を十分踏まえた地域防災計画の見直しを行なうとともに、総合的な防災体制を図ることが必要です。												
改 革 計 画	関係機関と協議し、防災体制の向上について検討します。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	統合/終期設定
二次評価での指摘事項	多くの一般市民が参加しやすい総合防災訓練を企画して市民全体の防災意識の高揚を図ってください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

020	1013	事務事業名	消防資器材の整備・更新事務	細事務事業名		公的関与	2						
課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち	政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(4) 消防・救急体制の充実						
事業の対象	災害発生時もしくは発生する恐れがある場合のすべての市民			根拠法令	消防力の整備指針								
事業の目的	最終的	消防資器材及び消防車両を更新し、災害活動時の効率化、迅速化を図ります。		今年度	消防車両(水槽付消防ポンプ自動車、高規格救急車)と空気式救助マットの購入。								
活動内容	消防用ホースの更新												
	消防車両の更新												
	消防用資器材の整備												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標					
			事務の性質上、指標設定になじまない。	目標									
				実績									
				目標									
				実績									
				目標									
		実績											
予算費目	会計	一般会計		費目名	消防		費						
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	16,764 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	56,900 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	3,729 千円	9,631 千円	800 千円									
	計(A)	3,729 千円	83,295 千円	800 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.015 人 112 千円	0.125 人 944 千円	0.015 人 113 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		3,841 千円	84,239 千円	913 千円									
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	市民を災害から守り、安心・安全なまちづくりのためには、消防力の充実、強化は必要不可欠です。												
有効性	消防車両の更新により、災害対応力の強化が図られています。												
達成度	更新計画により、順次消防車両及び装備の充実を図っています。												
効率性	計画的な更新計画に基づき、効率的な常備消防の整備に努めています。												
当面の課題	消防車両と装備の充実化を図ることは、迅速で効率的な消防活動につながることから、今後も計画的に事業を進めていくことが有効であるが、予算確保が厳しくなっていることから、更新計画を効率的に進めていく必要があります。												
改訂計画	事業の優先度を考慮し、年度ごとの更新計画をより明確にしていきます。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	単に古いものから更新するのではなく、対費用効果を考慮して、迅速な消防活動に役立つ装備の充実を図ってください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

020	1014	事務事業名	消防団の施設整備事業	細事務事業名		公的関与	2						
課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策 (2) 総合的な防災体制の確立						
事業の対象	市民			根拠法令	消防力の整備指針								
事業の目的	最終的	消防団車両および資機材を充実させることにより、火災等の被害を軽減します。		今年度	小型動力ポンプ(山之内、新村、北野田、保免、下仲屋、上古市、堀池)及び積載車(西岡、新村、堀池)の更新								
活動内容	小型動力ポンプ更新												
	小型動力ポンプ積載車更新												
	消防団車両の維持管理事務(車検、修理等)												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	消防団車両更新		ポンプ積載車更新目標数		台	目標	1	3	1	老朽化した車両を全て更新する			
						実績	1	3					
	小型動力ポンプ更新		小型動力ポンプ更新目標数		台	目標	3	7	1	老朽化したポンプを全て更新する			
						実績	3	7					
						目標							
					実績								
予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費				
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	2,467 千円	15,643 千円	2,425 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	5,220 千円	2,453 千円	2,983 千円									
	計(A)	7,687 千円	18,096 千円	5,408 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.134 人	996 千円	0.151 人	1,141 千円	0.151 人	1,138 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		8,683 千円	19,237 千円	6,546 千円									
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	地震などの大規模災害や山間部の災害に、消防団は不可欠です。												
有効性	消防団車両および資機材の更新は市民の安全・安心なまちづくりに有益です。												
達成度	老朽化したものから順次更新を進めています。												
効率性	計画的な更新計画をすすめることで、効率的な非常備消防の整備を計っていく必要があります。												
当面の課題	常備消防における災害対応には限界があり、消防団の災害発生時の活動は不可欠なものであるから、効率的に整備を進めていく必要があります。												
改革計画	今後も計画的な更新、整備を進めます。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	長期的な更新計画を順調に進めるため、消防団に対し、日頃からメンテナンス等整備を十分行うように、指導を徹底してください。												

東温市事務事業評価シート 平成21年度実施事業対象

020	1017	事務事業名	消防水利の整備・監理事業	細事務事業名		公的関与	2						
課名	消防課	係名	警防係	電話番号	089-964-5210	メールアドレス	syobohonbu@city.toon.ehime.jp						
事業区分	ハード事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間 年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策 (2) 総合的な防災体制の確立						
事業の対象	市民			根拠法令	消防法第20条								
事業の目的	最終的	消防水利を充実させることにより、火災時の迅速な防衛活動を図ります。			今年度	消火栓ボックスの設置							
活動内容	消火栓ホース格納箱、標識設置												
	防火水槽設置												
成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度	最終目標				
	消火栓ボックス設置		消火栓ボックス設置目標数		台	目標 18	16	12	年間20				
						実績 18	16						
	防火水槽設置		防火水槽設置目標数		基	目標 1	1	1	年間1				
						実績 1	1						
						目標							
					実績								
予算費目	会計	一般会計		費目名	消防			費					
直接事業費		平成 20 年度決算	平成 21 年度決算	平成 22 年度予算	備考								
	国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円									
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円									
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円									
	一般財源	8,699 千円	7,439 千円	2,357 千円									
	計(A)	8,699 千円	7,439 千円	2,357 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.123 人 914 千円	0.333 人 2,515 千円	0.333 人 2,510 千円									
	臨時職員工数・経費	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円	0.000 人 0 千円									
全体事業費(A+B)		9,613 千円	9,954 千円	4,867 千円									
一次評価者	警防係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	消火活動時に水利を確保するために必要です。												
有効性	消防体制の強化が図られています。												
達成度	消防水利不足地域の解消のため、引き続き消防水利を整備する必要があります。												
効率性	新設だけでなく、既設の消防水利についても常に使用できるように修繕等も実施しています。												
当面の課題	火災による被害を最小限に抑えるには、水利不足地域の解消を図る必要があります。												
改訂計画	設置計画によりさらに整備を実施する必要があります。												
二次評価者	消防課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	防火水槽設置などは地元からの要望が基本ですが、消防署の調査で必要箇所が見つければ担当消防団(分団・部)と協議を行い、整備するようにしてください。												